

Q & A



研修に関することなど、
なんでもお答えします！！

彩の国東大宮 メディカルセンターを 選んだ理由

**ぜひ、病院見学で
研修医に直接聞いてみてください**

実家が埼玉なので、地域医療に貢献したい。

見学の際に、研修医同士や上級医、他メディカルスタッフの雰囲気良かった。

研修医が主体的に動いていて楽しそうだった。

都内へのアクセスも良く、2年間過ごしやすい。

病院が大きすぎず、研修医の数も多すぎないので、医師の方々やコメディカルの顔を覚えやすい。

救急体制が充実していて、ファーストタッチから積極的に関わることができる。

2年間で幅広く症例を経験できる。

専攻医がいないので、研修医が症例や、手技を学ぶチャンスが多い。

当直について



肺炎をはじめとしたありふれた疾患から、稀な疾患を経験できる。

研修医がファーストタッチから一連の検査オーダーを行い、上級医がしっかりサポート・指導してくれる。

様々な科の専門の先生と当直をすることで、たくさんのお見解を学べる。

3年目に自信を持って独り立ちできるよう学ぶことができる。

当直回数は、月4回までの制限あり

平日だけではなく、土日祝の当直枠もあり

当直明けは、1日勤務になります。

当直体制は、内科・外科それぞれ当直指導医に対して
研修医2年目、1年目が当直につきます。

当直手当は、1年次 15,000円/1回 2年次 25,000円/1回

当直の時間は、19時～翌朝9時まで

研修医の 出身地・出身大学



- 研修医の出身地は、埼玉県が多いですか？
出身地や、出身大学については、毎年集まる研修医によって異なります。
- 研修医や先生方の出身大学はどこが多いですか？
当院は所属している医局がなく、特定の大学に集中していません。
研修医も先生方の出身大学は、様々です。

研修医の出身大学は、ホームページに掲載されているので
参考にしてみてください

勉強会について



どんな勉強会がありますか？

- **モーニングレクチャー**（毎月1回）
各診療科より、《 これだけは覚えてほしいこと 》
《 当直中に見逃してはいけない症状 》 などを中心に
ミニレクチャーを開催しています。
- **研修医症例発表会**
各診療科の先生方の前で、研修医が症例発表を行います。
スライドの作成ポイント、発表態度など
学会発表に向けてアドバイスをもらえます。
- **CPC症例検討会**
研修医が解剖を担当した症例について発表を行います。
症例検討会には、症例の指導医・病理医・担当病棟の看護師など
多職種が集まります

文献・図書・ シミュレーターなど 学習環境



- 図書室や、シミュレーターはありますか？
図書室、シミュレーションがあります。

入職時のオリエンテーションでは、シミュレータを使いBLSの基本、挿管、導尿、縫合、採血、ルート確保など現場配置前に手技研修を行います。

- 文献検索のシステムはありますか？
病院でメディカルオンラインを契約しています。
気になる文献を取り寄せることもでき、病院が費用を一部負担しています。



修了後の進路は どこへ進む方が多いか



内科、整形、形成、麻酔、泌尿器、脳神経外科、救急科、病理科、精神科など幅広く、埼玉県内、都内の基幹病院を中心に進む研修医が多いです。

当院には、精神科、産婦人科、小児科はありませんが、必ず連携施設で研修することがきますので、3年目の進路として選ぶ研修医もいます。

初期研修終了後に、大学病院、または市中病院のどちらの基幹施設を選ぶかは、個々の考え方、3年目以降のサブスペシャリティなども踏まえて、進んでいます。

内科、総合診療であれば、当院でも専門研修施設となっているため、3年目以降も残ることができます。

研修スケジュール、 連携病院での 研修などは どのように決めるか



2年次のローテーション科は、1年次秋ごろに自由選択科の希望をとり、研修医同士で人数や指導医、連携病院での研修時期を調整しながら決めていきます。

2年次の自由選択科目は、1科につき最長3カ月までとなります。

2年次のローテーション科は進路変更等による理由で、途中から変更することが可能です。

小児科、産婦人科、精神科、地域医療での研修時期は、連携病院から指定された月に研修します。

連携病院での当直業務の有無は、研修先によって異なります。

研修プログラム

補足



- **1年次 必修化メイン**
内科、循環器内科、消化器内科、外科、麻酔科、救急科を2カ月ずつ回ります。
ローテーションの順番は、入職前に第3希望までを確認し決定しています。
- **2年次 外部研修、自由選択**
小児科・産婦人科、精神科、地域医療は外部の連携施設にてそれぞれ1ヶ月ずつ研修を行います。
- **連携施設での研修時期は、各病院との調整により決定します。**
一般外来は、地域医療・小児科・内科にて行います。
- **一旦決まったローテーションを変更できるか**
変更可能です。
変更を希望する場合は院内1カ月前に申請書を提出します

研修プログラム

補足



僻地研修は希望者多数の場合は、研修態度・EPOC入力等、様々な面から判断し決定しています。

例年2名が僻地研修にて研修を受け入れてもらっています。

救急科2年目は、週1回ICUでの研修があります。

また、他科ローテーション中でも空いた時間等を利用し研修することができます。

放射線科では、読影の他に希望制で放射線治療を学ぶことができます。

また、3年目の専門科に合わせ研修内容を臨機応変に対応しています。

採用試験について



毎年8月～9月に、2日間にわけて行います。
採用試験の詳細については、毎年6月頃掲載します。

試験方法は、筆記試験（50分）と個別面接（5分）
筆記試験は、国家試験同等レベル

人物重視での採用をしています。

面接の順番は、応募書類の到着順ではございません。

過去問題は2年分を解答付きで応募者のみ応募締切翌日以降に
送付いたします。

面接官は、前年度は院長・センター長・事務長・看護部長・メンター・
メディカル部門・チーフレジデントの7名です

CBT成績証明書については、必須提出となります。

試験終了後は、研修医との時間を1人5分程度設けています。

処遇・勤務体系 休暇について



給与：1年次450,000円/ 2年次500,000円（月額）

月額+日当直代が支給されます。（上記金額は総支給額です）

本の購入や学会、研修に積極的に参加しましょう。

勤務体系

①月～金 9：00～18：00（8時間/1日）（40時間/週）

8：30～17：30（8時間/1日）（40時間/週）

②月～金 9：00～17：30（7.5時間/1日）（37.5時間/週）

土 9：00～13：00（4時間/1日）（隔週勤務）

その他、週40時間以内にて半日勤務なども調整があります

休暇 土日祝日（研修科によっては土曜日の隔週勤務あり）

有給休暇（1年次：10日 / 2年次：11日）

有給取得率は約90%。他、特別休暇あります。

学会参加・発表



学会・研修会等への補助はありますか？

学会参加費・交通費・宿泊費として、年8万円の補助があります。

学会休暇：有給とは別に年3回まで公休扱いで学会等に参加できます。

研修医はどんな学会に参加していますか？

ICLSコース、ACLSコース受講などはもちろん、各種勉強会、

各学会での学術総会など、興味のある学会や勉強会などに参加しています。

研修医が発表する機会がありますか？

年1回、院内と院外での発表をしてもらいます。

院内：研修医症例発表会では、院内の先生方の前で発表します。

先生方からコメントやアドバイスをもらえるので、勉強になります。

院外：埼玉県医学会総会、内科地方会、消化器病学会などで

学会発表を行います

社宅について

どのように選んでいますか？



ほとんどの研修医が、土呂駅近辺又は大宮公園駅近辺に住んでいます。

病院から30分以内又は2キロ以内の住宅が対象となりますので、徒歩や自転車で通勤できる範囲となります。

宿舎：医師住宅規定により住宅を貸与する。家賃補助有り
(5万円/月まで) 赴任時引越し料補助 (20万円迄)

家賃補助例 : 家賃7万円の物件
病院からの補助 5万円
自己負担 差額2万円 (+水道光熱費、共済費など)